

令和6年度 高岡市図書館協議会 意見交換要旨

令和6年8月30日（金）午後1:30から、高岡市生涯学習センター503研修室において、高岡市図書館協議会を開催いたしました。（出席者：委員7名及び事務局）事務局から資料説明を行ったところ、次のようなご意見やご提案をいただきました。

《意見交換要旨》

1 20周年事業は館内にとどまらず、高岡市全体に向けて大々的に宣伝してほしい。

【委員】

20周年事業は高岡市全体に向けて宣伝するのか、館内に限って宣伝するのか教えてほしい。絵本作家によるお話し会など、せっかくの機会なので大々的に宣伝してほしい。

2 書店、図書館、関係組織が一緒になって、子どもたちの読書推進ができればよい。

【委員】

図書館も本屋も、子供たちに読書を好きになって欲しいと、本を読んで欲しいという目的は同じである。書店等や図書館、高岡市立図書館の窓口サービス等業務受託者も一緒に子どもたちの読書推進に励んでいていただけたらと思う。

3 図書館で本を買える仕組みがあればよい。

【委員】

富山県はこの1年で、小さな本屋を含め8店舗閉店した。富山県に限らず、日本中の書店が閉店という方向へ進んでいる。閉店にはいろいろな事情があるが、日本独自の書店業界のスタイルである返品制度が要因の一つである。日販やトーハンといった大きな本屋でも書店業務で黒字を出せない状況にあり、大変な時代。今後、ますます本と雑誌を買う場所がなくなってくる。図書館に行ったら本を買える仕組みがあってもいいと思う。

4 まちづくりに寄与する高岡の市立図書館の役割を考えてほしい。

【委員】

もうちょっとグローバルに考えて、高岡市の図書館があるから高岡に住んでみたいとか、高岡は子供が減っているので生涯学習・スポーツ課とも連携してまちづくりに関して子供を増やす等、まちづくりの中の高岡の市立図書館の役割というのも、考えてほしいと思う。

5 高岡市の他施設等と連携をしたらどうか。

【委員】

図書館は公共性があり、地域にどう貢献するかがポイントだと思う。高岡市の施設である高岡市立博物館、高岡市立歴史万葉館、ミューゼ福岡写真館といった他施設等と教育の視点から連携したらいいか。

6 市の施策に興味のある子供を図書館に集める企画を検討してほしい。

【委員】

市の施策であるSDGsは子供が関心のあるテーマなので、興味のある子供を図書館に集めるみたいなこともぜひご検討していただきたい。

7 地元や外国籍の子供たちが図書館等にくるようにしてほしい。

【委員】

多文化共生の取組みについてお聞きしたい。高岡市はブラジルの人も多い。図書館として、英語に限らず、他の言語も取り扱っているのか。また、地元の子供たちや外国籍の子供たちを、図書館等に呼び寄せるのが図書館を賑やかにさせると思うが、いかがか？

8 地元の作家等の出版情報を発信したらどうか。

【委員】

高岡市立美術館長の村上隆館長は、最近『文化財の未来図』という本をお出しになったが、こういった地元の作家や地元で出版になった方々の情報発信をすればよいと思う。

以上